

那須塩原市議会だより

# ぎかいのひととき

12月定例会議の内容をわかりやすくお伝えします。

2024.2.20 No.107



特集

## 朝ごはんプロジェクト × 市議会

MENU

特集	P 2
出前講座を実施しました	P 4
議員研修を実施しました	P 6
県に要望書を提出しました	P 7
こんなことを審査・調査しました	P 8
こんなことを聞きました	P 11
Future	P 18



特集

## 朝ごはんプロジェクト × 市議会

### 朝ごはんを楽しみに学校へ



#### 朝ごはんプロジェクトとは

箒根学園の児童生徒を対象に希望者へ朝食を無料で提供するプロジェクトのこと。令和5年10月から月に1回、始業時間前に実施している。朝食を取る大切さについて理解を深め、家庭における食育推進を図ることや、人と関わること、食べる楽しさを伝えることなどを目的とする。

#### <朝ごはんプロジェクトを始めたきっかけは？>

◆朝ごはんを食べてこない子が多くなり、何か改善策はないだろうかと思案したのが朝ごはんプロジェクトでした。子どもたちに朝ごはんを食べることの大切さを実感してもらう活動として始めました。

#### <どのような気持ちでプロジェクトに参加していますか？>

◆調理活動自体が楽しく、また子どもたちが朝ごはんを楽しく食べている姿を見ることがうれしくて、毎回楽しみにしています。

◆子どもたちにとって楽しい場の1つとして20年、30年先も思い出に残っていると良いなと思っています。

#### <使用している食材は？>

◆基本的には箒根地区で生産または加工された品を使っています。メニューや予算によってはそうではない場合もあります。

◆野菜や米、味噌は地域の人たちからいただくことが多く、とても助かっています。

◆アグリパル塩原さんのイベントで出店させていただき、それで得た利益を食材調達資金に充てています。



### 更なる教育政策の充実を

#### <プロジェクトが始まってから、子どもたちの様子に変化はありましたか？>

◆令和2年度から旧関谷小学校で実施してきましたが、不登校がゼロになったり、学校生活の満足度や意欲が向上したりと少なからず影響は与えているのではないかと考えています。

◆上級生が下級生の面倒を自発的に見るようになりました。また、自分が使った食器やゴミは自分で片付けたり、友達の片付けを手伝ったりと関わりが増えたことで子どもたちが仲良くなっているように感じています。

◆子どもたちのみならず、地域が学校に対する見方も変わったように感じます。ボランティアの協力や花やプランターの寄付など、学校のために何かできないかと考えてくださることが増えました。

#### <今後の課題は？>

◆現在、活動する人数が少ないので、引き続き多くの協力者の確保に努めていきたいと思っています。  
◆箒根学園となつてからは生徒の人数も増えたため、全学年そろって参加できる日を確保することが難しく、月に複数回実施したいところですが月1回の開催になっているところです。

#### <市議会議員に対するイメージは？>

◆教育に関心を持っていただけている感じがします。

#### <市議会議員に期待することは？>

◆更なる教育政策の充実を図っていただきたいと思っています。

#### <市議会議員に対する要望などがあれば教えてください>

◆子育て世代の議員さんが多くなってきている感じがしますので、若い感性を活かして更に住みやすい地域づくりをしてほしいです。

# 中学校 出前講座

那須塩原市議会では、主権者教育の一環として、令和2年度から市内中学校を対象に出前講座を実施しています。今年度は黒磯北中学校、黒磯中学校、西那須野中学校、三島中学校の4校から実施依頼がありました。議員が講師として市議会の仕組みを説明、〇×クイズ、議員への質問の3部構成で講義を行いました。

## ①市議会の仕組みについて説明

市議会の仕組みについて、パワーポイントでイラストや図を用いながら説明をしました。参加生徒の皆さんは必要に応じてメモを取ったり、相づちを打ったりと真剣に議員の説明に耳を傾けていました。



黒磯北中学校での様子

## ②〇×クイズ

市議会の仕組みについて説明を聞いた後、〇×クイズに挑戦してもらいました。近くのクラスメートと相談しながら答えている様子もありました。中には全問正解した生徒さんもいて、全体の正解率はとても高かったです。



黒磯中学校での様子

## ③議員への質問

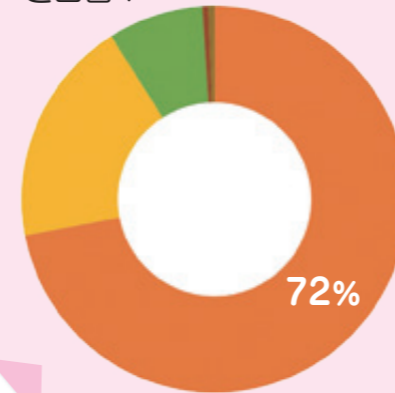
参加生徒からの質問に議員が答えました。市議会議員の給与や、議員になろうと思ったきっかけなど、議会や議員についての質問のほか、恋愛についてや議員同士の交友関係などの質問で盛り上がっていました。講座後のアンケートでは「一番楽しいコーナーだった」との回答が多く、好評でした。



三島中学校での様子

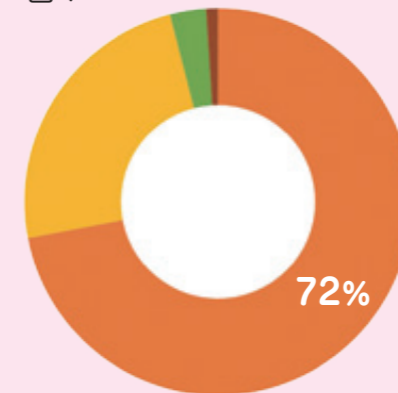
## Q1. 出前講座は面白かったですか？

72%が「とても面白かった」と回答！



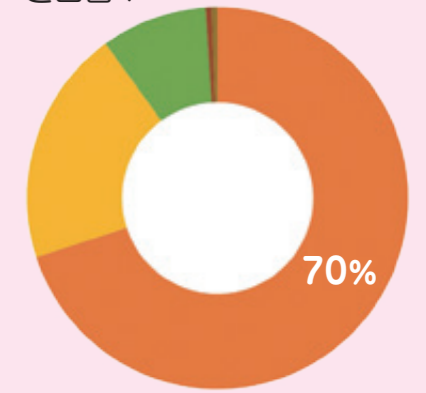
## Q2. 市議会についての説明は理解できましたか？

72%が「理解できた」と回答！



## Q3. 議員への質問コーナーは面白かったですか？

70%が「とても面白かった」と回答！

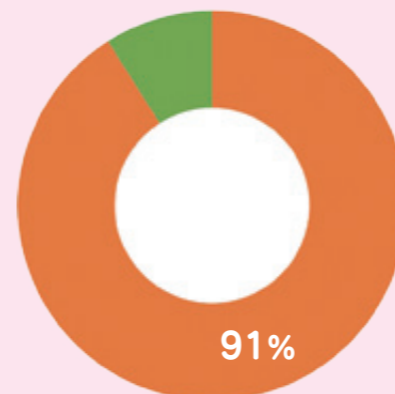


## 実施アンケート結果

(回答人数 457人)

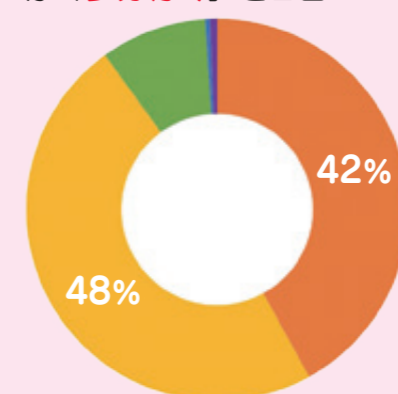
## Q4. 議員の印象は出前講座の前後で変わりましたか？

91%が「変わった」と回答！



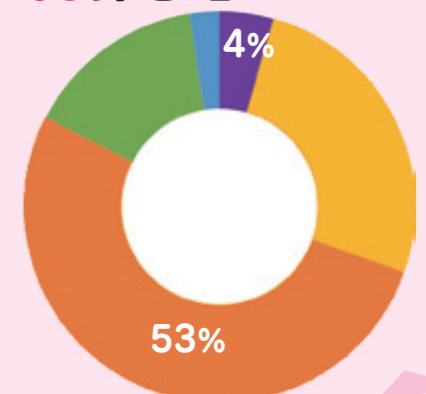
## Q5. 18歳になったら投票に行きますか？

42%が「必ず行く」、48%が「多分行く」と回答！



## Q6. 将来、市議会議員に立候補してみたいと思いますか？

4%が「思う」、53%が「少し思う」と回答！



## ～いただいた感想の一部を紹介します～

- 〇市議会について少し興味を持ちました。
- 〇楽しみながら市議会について知ることができました。
- 〇クイズでの復習のおかげで楽しく参加できました。
- 〇クイズの答えのバリエーションがもっとあると良いと思います。



西那須野中学校での様子

## 議員研修実施報告書

議会運営委員会では、議員の資質向上を目的として議員研修を行っています。

令和5年度は3回実施しました。生成AIに関する研修では、利用する上でのメリット・デメリットや、活用例を学びました。コンプライアンスに関する研修では、eラーニングを活用し、ハラスメントや政務活動費の適正使用などについて具体的な事例も交えた講座を受講しました。議員間討議に関する研修では、他市町の議会の実施例の紹介や、SOUNDカード™を使用して議員間討議を実践しました。

開催日	テーマ	講師
令和5年11月17日	生成AIの利活用について	コンピュータハウスザ・マイクロ東京 豊田 倫子氏
令和5年12月13日	地方議員の コンプライアンスについて	eラーニング（動画視聴） 東京弁護士会：太田 雅幸氏
令和6年1月19日	議員間討議の 活性化について	青森大学社会学部コミュニティ創生コース 教授 佐藤 淳氏

### ～ 受講後の感想 ～

#### 生成AIの利活用について

質問をすると瞬時に答えが返ってくる生成AIのスピード感に時代の進みを感じました。一般的な疑問を生成AIに質問をすると確かな回答が返ってきました。一般的な回答は的確な市政一般質問をするために、参考になります。質問内容を深掘りするための良いツールとして活用していきたいと思います。

個人情報の取り扱いに気を付けることや、AIへの質問の方法を教えてもらい参考になりました。生成AIの回答のチェックも必ず実施すること等に気を付けて利用すれば効率的に仕事が進められると思います。

#### コンプライアンスについて

公人としてしっかりと押さえておかなければならないものですが、ともすると知らず知らずのうちに誤った対応をしかねないものもある事が多いと知る機会に恵まれました。

議員としてのコンプライアンスは繰り返し学んで、身に付けていくことが大切であると思いました。常に議会の一員としても意識をし行動していく必要があり、一人一人がさらに深く学ぶ機会を作ってはどうかと思います。

#### 議員間討議の 活性化について

「心理的安全性」が高い組織はパフォーマンスが高い！に、共感した。SOUNDカード™の活用は、話し合いの生産性が上がると感じました。

研修を受講したことにより難しく捉えていた議員間討議の考え方のハードルが下がりました。SOUNDカード™を用いた手法は市民との意見交換会の場にも活用できます。

※ SOUNDカード™とは…ミーティング進行補助ツール。多種多様な質問が書かれているカードを使用することで話し合いの活性化を促すことができる。

### 市議会レポート①

## 栃木県知事へ要望書を提出しました



左から山形議長、福田知事、眞壁副議長

那須高林産業団地の地中から障害物（700 mm超の碎石）が大量に見つかった問題を受け、山形紀弘議長、眞壁俊郎副議長が12月18日（月）に県庁を訪れ、「地中埋設物に関する調査への協力を求める要望書」を福田知事に提出してきました。

当日は、県議会の関谷暢之副議長、阿部寿一議員にも同席いただき、福田知事からは「今後も具体的な依頼があれば、必要に応じて資料提供や説明を行っていきたい」との回答をいただきました。



### 市議会レポート②

## 新庁舎に関する講演会及び座談会が開催されました

令和5年11月30日（木）、新庁舎に関する講演会及び座談会が市役所本庁舎で市職員及び市議会議員を対象に開催されました。

講演会は、隈研吾建築都市設計事務所代表の隈研吾氏により行われ、「隈建築の設計理念」や「庁舎建設が地方活性化に与えた影響」などについて語られました。

座談会では、新庁舎の設計事業者である安井・隈建設共同体の各事務所代表（安井建築設計事務所 佐野吉彦氏、隈研吾建築都市設計事務所 隈研吾氏）と渡辺市長が登壇し、「新庁舎のコンセプト」や「市民サービスの向上と職員の働き方改革」などについて話されました。



## こんなことを審査・調査しました

※ ◎は委員長、○は副委員長

### 総務企画常任委員会

【審査分野】市政全般、自治会、情報システム、防災、税など  
 【委員】◎森本彰伸○林美幸、三本木直人、田村正宏、齊藤誠之、佐藤一則、平山武、松田寛人、金子 哲也

#### 那須塩原市の部局に一部変更がありました

**問** 市民生活部の分掌事務であった「公害対策に関すること」が、改正後の環境戦略部ではなくなっているが、改正案ではどこの分掌事務に含まれているのか。

**答** 今までの「公害対策に関すること」、「環境保全に関すること」、「自然共生に関すること」、として、環境戦略部に含まれている。



#### 那須塩原市税条例の一部改正がありました

**問** 市民税及び固定資産税について、条例で定めた納期とは別に、特別な事情により納期を定めるときの規定の整理を行うとのことだが、特別な事情について、規則で補完するつもりはないのか。

**答** もともと地方税法の規定に、特別な事情についての規定があり、それに合わせて条例を改正したため、別途規則を定める予定はない。

#### 消防団の消防自動車を新しくします

**問** 小型動力ポンプ付き積載車3台分の費用とのことだが、1台あたりの金額は、合計金額の3分の1の費用であるのか。

**答** 3台とも同じ仕様で発注をしており、金額的には3分の1の金額になり、1台あたり、1,633万5,000円になる。

### 福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど  
 【委員】◎益子丈弘○星宏子、堤正明、鈴木秀信、室井孝幸、相馬剛、眞壁俊郎、山本はるひ、玉野宏

#### 指定管理者が変わります

「三島体育センター」と「にしなすの運動公園」の前指定管理者が破産手続きを開始したため指定管理者の取り消しを行い、新たに那須ヘルスセンター株式会社に指定を行うことになりました。

**問** 導入形態のところに、特定の団体を選定と書いてあるが、これは今までやっていた事業者が倒産によりできなくなったため特定の団体としたということか。

**答** 特定とした主な理由は、前指定管理者に破産の開始が起きて、すぐに指定管理業務を行うために業務委託という形で3月までお願いすることになったためである。公募の期間が取れなかった中、緊急に指定管理の事業者を見つけなくてはならないというところで、実績のある業者があったため特定の団体で進めさせていただいた。

**問** 指定管理期間が令和6年から令和8年3月までの2年間ということだが、これは前事業者の引継ぎということなのか、それとも改めて指定

したということなのか伺う。

**答** この2年間に設定したのは、もともと前指定管理者の残り2年という期間を設定しています。ほかの黒磯、塩原地区の指定施設についても2年後に切り換えになるので合わせている。今回はコロナ禍での急激な業績の悪化が原因だったが、今後も同じことが起こり得る可能性があるので対策を講じていきたい。



### 建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など  
 【委員】◎大野恭男○小島耕一、山形紀弘、星野健二、中里康寛、鈴木伸彦、中村芳隆、齋藤寿一

#### 印鑑証明を発行する際の利便性が向上します

**問** 印鑑条例の改正によって、市民にどのような利便性の向上が図れるのか。

**答** マイナンバーカードを持参しなくてもスマートフォンを使いマルチコピー機で印鑑証明がとれるようになるもの。

#### 青木ふるさと物産センターの休館日が変わります

**問** 休館日の曜日を月曜日から火曜日に変えた理由は。

**答** 月曜日は振替休日等で休みの日が多く、また、土日の休日に来て月曜日に帰る人も多いことから、月曜日は開館し、火曜日を休館とした。

**問** 開館時間は、夏場は5時まで、冬場は4時半までだが、レストランの営業はランチだけでディナーは営業しないのか。

**答** 基本的にはランチ営業を考えている。ただし、青木別邸のイベントなども考え、イベント限定でディナーの開館も行い、お客さんをお呼び取り組みをしたい。

#### 道路占用の料金が変わります

**問** 国を基準に合わせて条例改正すると、占用料の歳入は上がるのか、下がるのか。

**答** 現在、電柱の設置など道路占用の歳入は1,500万円ぐらいだが、改正によって1,680万円になることを見込んでいる。



### 予算常任委員会

【委員】◎森本彰伸 ○益子丈弘 ○大野恭男、その他全議員

#### 子ども医療費の助成を行っています

**問** 子ども医療費助成が大幅に増えた理由を伺う。

**答** 新型コロナ5類移行により公費負担医療が減少し自己負担が増え、それに伴い助成費が増えた。また他の感染症の罹患環境が増えたためである。

#### 那須高林産業団地内の地中障害物の成分分析を行い原因を特定していきます

**問** 令和5年度那須高林産業団地内地中障害物成分分析業務委託費について、このデータを今後どのように活用していくのか伺う。

**答** 今までの調査結果では、地中障害物が塩原トンネル工事によるものか確定できない。成分分析をすることによって、その可能性が高いとの結果が出た場合、トンネル工事発注者の県へ原因特定について更なる協力を求める際に使えるのではないかと考えている。

#### 特定外来生物を早期に防除していきます

**問** 特定外来生物早期防除計画策定業務により、どのような効果が生まれるか伺う。

**答** 早期の対応が重要になる。すでに発生したエリアや害虫が好む樹種が多いエリアを警戒エリアとしゾーニングする。また、効果的な防除方針を策定することで被害を抑えていく。



本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
議案第92号	令和5年度那須塩原市一般会計補正予算（第6号）	可決
議案第93号	令和5年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第94号	令和5年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第95号	令和5年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第96号	令和5年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第97号	令和5年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第98号	令和5年度那須塩原市下水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第99号	那須塩原市部局設置条例の一部改正について	可決
議案第100号	那須塩原市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決
議案第101号	那須塩原市印鑑条例の一部改正について	可決
議案第102号	那須塩原市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
議案第103号	那須塩原市税条例の一部改正について	可決
議案第104号	那須塩原市都市計画税条例の一部改正について	可決
議案第105号	那須塩原市保育園条例の一部改正について	可決
議案第106号	那須塩原市子育て相談センター条例の一部改正について	可決
議案第107号	那須塩原市青木ふるさと物産センター条例の一部改正について	可決
議案第108号	那須塩原市道路占用料徴収条例の一部改正について	可決
議案第109号	那須塩原市法定外公共物管理条例の一部改正について	可決
議案第110号	那須塩原市空き家等対策の推進に関する条例の一部改正について	可決
議案第111号	那須塩原市空き家対策審議会条例の一部改正について	可決
議案第112号	財産の取得について	可決
議案第113号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第114号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第115号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第116号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第117号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第118号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第119号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第120号	栃木県市町村総合事務組合規約の変更について	可決
議案第121号	市道路線の認定について	可決
議案第122号	令和5年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）	可決
議案第123号	令和5年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第124号	令和5年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第125号	令和5年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第126号	令和5年度那須塩原市産業団地造成事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第127号	那須塩原市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議案第128号	令和5年度那須塩原市一般会計補正予算（第8号）	可決
議案第129号	那須塩原市手数料条例の一部改正について	可決
発議第6号	那須塩原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決
発議第7号	庁舎建設検討特別委員会の委員の定数の変更について	可決



田村 正宏議員



**UIJターンによる若者の地方定着と人材確保を見据えた奨学金返還支援制度の導入について**

**問**近年、貸与型奨学金の返済が困難となる人が増え社会問題化している中で、国の奨学金返還支援制度を利用して移住・定住した人材確保に繋がっている自治体や企業が増加している。今後、本市においても、若者の卒業後の職業選択や居住地の選択に大きな影響力のある同制度を導入する考えはあるか。

**答**企画部長 卒業後の就職先の選択に影響を与えるものと認識しており、今後、本市の移住定住支援策の見直しなどと合わせて研究していきたい。

**発達性読み書き障害（ディスレクシア）について**

**問**発達性読み書き障害であるディスレクシアは学習障害の一つのタイプとされ、全体的に発達に遅れないのに文字の読み書きに限定した困難があり、そのことにより学業不振や二次的な学校不適応などが生じる疾患であるが、本市の対応及び課題について伺う。

**答**教育長 市内の小中学校等においては、特に読み書きに困難を抱える児童生徒には、通級指導で支援を行ったり、ルビ振りや音声読み上げの機能などを活用できるマルチメディアデジ教科書やタブレットなどのICTを活用している。ディスレクシアは、症状が人によりさまざまであることなどから見過ごされたり、一見すると本人の努力不足や怠惰など見られてしまう場合もあり、周囲から症状の理解がされにくいことが課題であると捉えている。



小島 耕一議員



**歯及び口腔の健康づくりについて**

**問**歯と口腔の健康づくり条例を制定した理由は。  
**答**保健福祉部長 心身の健康の保持や脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病などの生活習慣病の予防のためには、歯や口腔の健康を保つことが重要なことから、生涯を通じた市民の健康を保持及び増進を目的として条例を制定した。

**問**条例制定後に行う施策は。  
**答**保健福祉部長 口腔機能の衰えを予防するために、後期高齢者歯科検診を行うとともに、歯周病の糖尿病への影響を周知啓発する事業を行い、来年度は歯周病検診を20歳、30歳にも拡大する。

**問**歯周病を予防するには歯磨きだけでは歯垢を完全に落とせない。水圧で歯垢を洗い流す機械があるので歯周病予防の講座等で購入利用を指導してはどうか。

**答**保健福祉部長 毎日のセルフケアで歯ブラシでは行き届かないため、口腔洗浄機も効果を上げる有効な手段と捉えている。

**廃校の再利用や譲渡について**

**問**利活用の方針や推進等に係わる協議の仕組みを検討中とのことだが、どのようにするのか。

**答**企画部長 これまで地域や庁内での活用や、売却への定めはあったが、具体的な実施手段が定められていなかったため、検討していきたい。

**問**廃校活用プロジェクトを進めてはいかがか。

**答**市長 廃校というのは、公民館に並んで古くて新しい可能性を持った施設だと思っている。那須塩原市の将来に資するもののためにうまく生かしていきたいと思っている。





佐藤 一則議員



災害対応力の強化について

問 災害時の情報伝達手段について伺う。

答 市長 みるメール、LINE や災害情報共有システム等で DX を進めており、防災ラジオや電話及び FAX での配信も継続していく。

問 地域住民参加型の防災訓練について伺う。

答 総務部長 公民館エリア単位で実施しており、今後は、地域の特性に応じた訓練を実施したい。

問 地域防災リーダーの育成について伺う。

答 総務部長 防災士養成事業で、539 人の防災士、うち女性 89 人を養成し、その人数は県内 2 番目で、フォローアップ研修も隔年で実施している。

問 地域と行政の連携体制について伺う。

答 総務部長 市職員や消防団員、消防署員が自主防災組織や各種団体の防災訓練などの事業に出向き、防災講話や消火訓練等を実施している。

問 消防団の定員と充足率について伺う。

答 総務部長 定員は 1,435 人で、団員数は 1,068 人であるので充足率は 74.4% になっている。

問 充足率が 74.4% の消防団を持続可能な組織とするための見直しについて伺う。

答 総務部長 少子化等による団員のなり手不足は深刻な状況にあり、組織の編成、各部の管轄区域、団員や幹部の定員数を見直す必要がある。令和 3 年度から組織の見直しの検討を行っているが、地域の思いや各部の成り立ちの違いがあるので、丁寧な進め方、説明が必要だと考えている。

問 消防水利の位置情報整備について伺う。

答 総務部長 消火栓、防火水槽等の消防水利の位置情報は現在、電子地図に取り組む具体的な検討をしており、使いやすいものを導入していきたい。



山本 はるひ議員



協働のまちづくりのために

～情報の共有化について～

問 協働のまちづくりを進めていくために大切なことは市と市民との情報の共有化で、まちづくりは、そこに住んでいる市民、住み続けたいと思う市民が自分たちで考えることが大事だと思う。市は、市民との情報の共有化をどう図っているか伺う。

答 市長 今は LINE、紙媒体のアンケートなど媒体に限りがあるが、今後 DX 化を進めていくと、より多くの人に意見を聞けるようになると思う。事前にこの構想についてはこのように検討していますよとか、事業決定前においても積極的に情報を発信することが大事なことだと感じている。

問 那須塩原駅周辺まちづくりについて、市民の意見を聞く機会はあるか、会議で議論されたことについて市民に情報提供することを考えているか。さらに、まちづくり協議体での検討内容について、市民に知らせることや市民の声を取り入れるための方策はあるか伺う。

答 市長 駅周辺まちづくりについては、グランドデザイン会議と協議体と 2 つがある。会議は有識者や実務者から意見をいただく場で、協議体は具体的な施策を検討することを目的にしていて、市民の方を含めて議論を進めていく。会議の議論の内容は協議体についても、ホームページなどで公開をしていきたいと思っている。

問 どんなものを使って市民に物事を知らせていくか、重点を置いているものを教えてほしい。

答 企画部長 DX 推進の立場からは、みるメール、LINE、Instagram、地域ポータルなどを視野に入れたいと思う。



森本 彰伸議員



デジタルデバインド対策について

問 市行政のデジタル化の中で、庁舎の窓口での市民への対応について伺う。

答 企画部長 どこでも窓口による手続のオンライン化や書かない窓口による窓口のデジタル化、また手数料の支払いをキャッシュレス化するなどの取り組みを進めてきた。それでもまだ従来どおり紙の申請書を利用される人がいる。そのような人に対してはマイナンバーカード等を持参されているか等の声がけなどにより書かない窓口へいざない、またどこでも窓口を案内するなどの取り組みにより対応していく。

問 オンラインでの消費者トラブルの現状を伺う。

答 市民生活部長 令和 4 年度の相談件数は 819 件となっている。うちインターネットによる通信販売などに関するものが 192 件、ショートメッセージを使用した架空請求などに関するものが 39 件である。

問 高齢者がデジタル社会の恩恵を受けるため、どのような対策を行っているか伺う。

答 保健福祉部長 ウェブ会議ツール ZOOM を利用して、自宅から気軽に参加することができる体操や交流の場を提供している。また、スマートフォンやタブレットの使い方が難しいと感じる高齢者向けに実技指導を行うデジタル教室を開催するとともに、デジタル機器の使い方を指導するデジタルサポーターの養成も行い、デジタルサポーターが地域で活躍できるように支援をしている。高齢者のデジタルデバインドの解消のためには継続した支援が重要なことから、来年度以降も引き続きデジタル教室の開催を進めていきたい。



相馬 剛議員



新たなスポーツツーリズムの開発について

問 本年 9 月那須塩原スポーツコミッションが設立され、その取組事項に「新たなスポーツツーリズムの開発」があるが、自然豊かな塩原ダム周辺をアウトドアスポーツに活用できないか。

答 市長 塩原ダム湖では、春と秋にパドルスポーツが盛んに行われており、スポーツコミッションの枠組みの中で、新たなスポーツツーリズムの開発をして、誘客を行っていきたい。

答 塩原支所長 塩原ダム周辺には県が管理する塩原ダム公園、市が管理するもみじ谷公園、駐車場とトイレがある。全体の指定管理者としてたかはら森林組合が運営しており、パドルスポーツの発着所もある。もみじ谷公園は、年間 16 万人弱の観光客が訪れるため、オートキャンプ場の設置は難しい。

答 教育部長 塩原ダム湖を個人的に利用する場合許可が必要で、安全管理上の問題もあるが、必要に応じて検討していく。

自転車の安全な利用の促進に関する条例について

問 令和 2 年 4 月「自転車の安全な利用の促進に関する条例」を施行し、令和 4 年 7 月自転車損害賠償責任保険等への加入を義務づける改正を行ったが、条例の目的達成にどう取り組むか。

答 市民生活部長 交通安全推進計画で保険の加入、ヘルメット着用は重点推進項目に挙げており、今後条例の認知度と併せアンケートを行う。ヘルメット着用率は高校生になると低下するため、その理由も調査したい。目的達成には、例年の交通安全運動などで、地道な周知啓発が必要と考える。





益子 丈弘議員



本市の農業施策について

問 今後の環境に配慮した農業の取り組みの考えを伺う。

答 産業観光部長 農畜産業における脱炭素化や環境負荷の低減、家畜ふん尿を有効活用した資源循環の取り組みなど、地域の実情に応じ環境に配慮した農業を推進していくことは重要と考える。

問 農業委員会の申請手続き等で以前より変更したものはあるのか。

答 農業委員会事務局長 今年度、農地法改正により下限面積要件が廃止された。また、情報を定期的に更新しているが今年度は登記簿情報と突合し正確性を向上させている。

問 地球環境に配慮した農業への気候変動対策局の取り組みは。

答 気候変動対策局長 青木地区のゼロカーボン街区構築事業での酪農家との連携や、まだ検討段階だがバイオガス発電など再生可能エネルギーによる取り組みが地域の課題解決につながることを示していきたい。

本市の学習指導要領に基づく教育について

問 学校DXによる多様な学びや地域学習などで小学校、中学校によっての違いや本市ならではの特徴はあるのか。

答 教育長 それぞれの発達段階に応じて行っている。手法等に違いはあるが全体的な違いはない。本市ならではの特徴はALT※の全校配置と教科横断的な体験を取り入れていくことである。

※ ALT…外国語が母語である外国語指導助手のこと。



環境保全型農業の取り組みを行う農地



林 美幸議員



孤独・孤立を防ぐ取り組みについて

問 孤独・孤立の実態把握、予防の対策として、避難行動要支援事業や地域住民助け合い事業などがつながりをつくる手段であると考えますが、これらの現状と課題について伺う。

答 保健福祉部長 避難行動要支援者事業の現状は、自治会と事業実施の協定を締結し、同意者名簿の共有、個別計画の作成を進めている。9月末現在で、協定締結済みの自治会は82%程度である。課題は、高齢化に伴い要支援者の数が増え、地域の支援者が見つからないなど、地域の支援体制の再構築が必要となっている。地域住民助け合い事業は、地域支え合い推進員が地域に働きかけを行い、自治会単位での見守り組織を結成し、見守り活動を実施している。設置済みの自治会は、9月末現在で7割程度である。課題は結成されていない自治会、地域の課題解決に向けた協議の場の設置が市内全域で完了していないことである。

子どもの人権オンブズパーソンの設置について

問 子どもの権利条例の育ち学ぶ施設とその他の施設の考え方について、フリースクールは、これらの施設と考えられるのかを伺う。

答 子ども未来部長 学校に行きたくても行けない子どもたちに対して、学習活動や体験学習を提供している民間の施設であるので、その他の施設という認識である。

問 医療的ケア児の保育園受け入れ状況は。

答 子ども未来部長 本市には医療的ケア児が20人以上おり、需要はあると認識している。受け入れできる保育園を増やす努力をしているが実施には至っていない。



齊藤 誠之議員



サーキュラーエコノミー（循環社会）の取り組みについて

問 バイオマスプラスチックは、植物由来の原料で造られている物で、燃やす際の二酸化炭素は、植物の光合成で吸収された二酸化炭素であるため、大気中の二酸化炭素の増減に影響を与えないカーボンニュートラルの考えがある。この利活用について本市では検討しているのかどうか伺う。

答 市民生活部長 本市では現在ボランティア袋にバイオマスプラスチックを10%ほど導入している。指定ごみ袋も導入を検討したが、導入費用が高額となることから見送った経緯がある。今後も状況を見極めながら、導入に向けて検討していく。

公民館の在り方について

問 公民館条例施行規則では国民の祝日に関する法律に規定する休日は休館となっているが、休日に公民館が使用できないことは利便性の向上に繋がらないため、変更する考えはないか伺う。

答 教育部長 全ての祝日を閉館とすることは考えていないが、教育長が特に必要があると認めた場合は休館日を変更することができるので、地域イベント等の実施のため開館が必要と判断した場合は適宜個別に対応をしていく。

問 今後のシェアスペースの設置予定を伺う。

答 教育部長 シェアスペースは現在、昨年度設置した西那須野公民館があり、市のシェアスペースとは別に、市民が工夫を凝らして独自に設置している公民館もある。今年度（5年度）は稲村公民館と三島公民館に設置を予定している。今後は、この3館の利用実績等を勘案して検討していく。



堤 正明議員



会計年度任用職員の処遇改善について

問 会計年度任用職員制度は、2020年4月の地方公務員法の改正により新たに非常勤の地方公務員制度として創設されたが、会計年度任用職員の処遇に課題があると考えるところから伺う。

答 総務部長 市全体の会計年度任用職員数は612人であり、正職員を含めた全職員数の42.1%を占めている。任期は1年で勤務実績に応じた任期の更新を2回まで可能としている。これにより、公募を行わない継続任用期間は最長で3年間となる。勤勉手当は地方自治法の一部改正に伴い、令和6年4月から支給できることとなったため、本市でも検討を進めている。

高齢者の居場所づくりについて

問 高齢化社会を迎え、いつまでもこの那須塩原市で住み続けるため高齢者対策について伺う。

答 市長 独り住まいの高齢者の相談・訪問は、地域包括支援センターで、民生委員は見守り安否確認の活動を行っている。地域社会の人間関係の希薄化で実態が十分に把握できていない独り住まいの高齢者もいる。

問 そこに行けば食事ができる、ゲームができる、自分の趣味に合った仲間同士楽しむことができる、生活相談もできる、そのような新たなサロンづくりが必要ではないかと考えるがいかがか。

答 保健福祉部長 議員指摘の新たなサロンの提案があれば、市長が認める団体、運営の補助事業についても具体的提案をいただいた上で検討していきたい。







金子 哲也議員



ぽっぽ通りを花々で満たす企画について

問 市はぽっぽ通りを花で満たす企画に賛同していただけるか、また協力していただけるか。

答 市長 道路環境の美化、自然環境の保全、道路愛護思想に沿った企画であると認識している。また、植栽スペースや資材保管場所の提供、高い木の処分による花壇の確保に協力する。

問 ぽっぽ通りは将来的には、ぽっぽ通り公園として、市民や来園者の癒やしのスポットになる貴重な場所である。ぽっぽ通りが生活の質を高める大きな財産であり、生かさな手はないと思われる。

答 政策統括監 300年計画だとは初めて知ったが、それだけ続くようになるには、やはり市民の機運の醸成が重要と思う。そういったところには個人的には協力をさせていただきたい。

答 市長 エリアマネジメントとか、地域の人巻き込んで、何か出来ればいいなと思っている。

公園の植栽や樹木の管理と緑化について

問 緑の課の設置検討と花と緑に特化した「地域おこし協力隊」の採用の検討はできないか。また緑化に取り組んでいくとの答弁だったが、どう推進するのか。

答 建設部長 今後組織の中で「公園係」を設置し都市緑化を中心に調査研究をしていく。花と緑に特化した地域おこし協力隊の採用の考えはない。



ぽっぽ通りの様子



星 宏子議員



切れ目のない子育て支援について

問 発達に特性のある子どもを持つ保護者が不安や悩みを共有できる場、交流の場はあるのか。

答 子ども未来部長 年2回実施しているほか、広報紙「発達支援システム通信」を年2回発行している。今後はオンラインを含め参加しやすい実施形態を検討する。

問 多胎児を持つ家庭への支援や産後ケアの活用の促進について課題は何か。また母子手帳アプリを利用したオンライン育児相談について伺う。

答 子ども未来部長 多胎児の育児負担の軽減のため、産後ケア利用の際の子ども1人分の利用料を免除し、双子手帳を配布。ファミリーサポートセンターや家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」の案内をしている。産後ケアの今年度の利用実績は、9月末現在で37人、延べ人数で55人、利用日数127件で利用促進は進んでいる。課題は、産後ケアができる病院や助産施設に限られており1日に利用できるベッド数が14のため、利用者が増えるとベッド不足が生じてしまうことである。オンラインでの相談対応は今後検討していく。

本市の課題解決に向けデジタルの活用を

問 不登校や病気などで長期間登校できない児童生徒への学習や居場所として仮想空間(メタバース)の提供やオンライン学習の活用について伺う。

答 教育長 ある県でメタバース仮想空間を利用しているが参加者がゼロで、ひきこもりではないお子さんも登録している状況である。本当にひきこもりのお子さんが欲しているのかという検証が進んでいないため、他自治体の様子を見ていく。



齋藤 寿一議員



今後のONSEN・ガストロノミーウォーキングについて

問 ONSEN・ガストロノミーウォーキングのこれまでの実績について伺う。

答 市長 令和2年度は板室温泉エリアを舞台に夜は青木別邸をライトアップしディナーショーを行い、令和3年塩原温泉エリアでは文学研究会の説明、令和4年西那須野では大山別邸を始め日本遺産の文化財に触れられ、今年度の黒磯エリアについては黒磯駅の貴賓室など見学出来てそれぞれ参加者の98%が満足であるとの結果であった。

塩原視力障害センター跡地所得について

問 宇都宮財務事務所との協議の経過について伺う。

答 企画部長 平成29年5月に取得要望書を提出し協議を進めてきたが約51,000m<sup>2</sup>のうち土砂災害警戒区域や特別区域を除いた約20,600m<sup>2</sup>の取得を要望しているため国との協議が進んでいない。

問 現在の状況では取得困難であるということで令和6年3月末で交渉期限が切れるが、今後情勢が変わった時には再度交渉する考えはあるか。

答 市長 まだコロナ禍にある中で数億円掛かるであろう土地の購入は現時点では困難。私も、大正天皇と塩原地区の歴史は分かっており、ロイヤルブランドに繋がるような話で今後条件が変われば再度検討はしていきたい。



市議会レポート③

### 市議会議員の似顔絵を飾っています

令和6年1月から、議場の傍聴席に続く通路に、市議会議員26人の似顔絵を飾っています。「市民の皆様気軽に議場へ足を運んでいただきたい」、「身近に感じてほしい」という思いから、イラストに加えて、座右の銘や好きな言葉も一緒に掲示しています。このイラストは、市役所本庁舎4階で見ることができます。

# Future

～わたしの夢～ No.26

東小学校 6年

## おやま ももか 小山 萌々花さん

トリマーとしてお店を開きたい

**私**の将来の夢は、トリマーになって自分のお店を開くことです。以前、祖父母の家で飼っていた「アロン」という犬がトリミングから帰ってきた時、毛並みが光っていて、首には季節に合わせた飾りを付け、ふんわりと優しい香りに包まれていたのを今でも鮮明に覚えています。また、最近はトリミングについてのテレビ番組をよく見ますが、その技術についても驚かされます。

ですが私はまだ、実際にトリミングを行っているところを間近で最後まで見たことがありません。ましてや自分自身がトリミングを上手くできるかは分かりません。だからこそ、良い学校で大切な知識を学び、腕の良いトリマーになり、自分だけのステキなお店を開きたいです。



萌々花さんは、どのようなことにも興味関心を示し、何事にも積極的に授業に取り組むことができます。また、豊かな感性をもち、描く絵や美しい歌声は、見る人聴く人を感動させる力があります。その素晴らしい感性をあらゆる場面で発揮している萌々花さんを推薦します。

(推薦者 岡田航介先生談)

議会 暦						
日	月	火	水	木	金	土
2/18	19	20	21	22	23	24
				本会議 再開・提案説明		
25	26	27	28	29	3/1	2
	本会議 会派代表質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問		
3	4	5	6	7	8	9
	本会議 一般質問・議案質疑	常任委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	
10	11	12	13	14	15	16
				議員全員協議会 予算常任委員会	本会議 採決・散会	
17	18	19	20	21	22	23

※上記の日程は予定です。今後変更になる場合があります。

本会議、常任委員会は、午前10時開会予定です。

※2月26日の会派代表質問の開始時間は9時25分予定です。

## 令和6年 能登半島地震に伴う 災害義援金を送金しました

那須塩原市議会は、被災された方々の生活再建に役立てていただきたく、また、一日も早い復興を願ひまして、那須塩原市議会議員互助会として微力ながら、令和6年1月19日に義援金を送金いたしました。

1. 送金先……石川県（石川県令和6年能登半島地震災害義援金口座）
2. 金額……300,000円

## 編集後記

2024年元日に発生した能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。一日でも早い回復と復興をお祈り申し上げます。災害はいつ起こるか予測できないという事を目の当たりにし、備えの大切さを再認識いたしました。

(室井孝幸)